



やまなみ

第6師団

師団長
統率方針

任務完遂

第6師団(師団長 鬼頭陸将)は、令和4年10月3日から8日までの間、王城寺原演習場において「令和4年度第2次師団訓練検閲」を実施しました。



本訓練検閲は、第6後方支援連隊(連隊長 益子1佐)、第6施設大隊(大隊長 日野2佐)、第6偵察隊(隊長 小畑2佐)、第6飛行隊(隊長 久原2佐)及び第6特殊武器防護隊(隊長 渡邊3佐)に対して「師団の陣地攻撃における行動」を評価してその進歩・向上を促しました。

鬼頭師団長は神町駐屯地で実施された訓練開始式において、「指揮の最大限発揮」「職種能力の最大限発揮」「安全管理・健康管理の徹底」の3点を要望しました。

各指揮官は作戦全般の状況を把握して、普通科連隊等と連携し、それぞれの部隊が持つ機能を最大限発揮できるように専門的知識を活用した戦術支援及び後方支援を実施しました。



令和4年度第2次師団訓練検閲



令和4年度師団総合戦闘射撃 第20普通科連隊

第20普通科連隊(連隊長 荒木1佐)は、9月5日から10日までの間、王城寺原演習場(宮城県)において「令和4年度師団総合戦闘射撃」を行いました。

戦闘射撃では一連の攻撃行動に基づき、小銃小隊が分隊長の指揮・統制の下、攻撃前進を開始、施設作業小隊が70式地雷原爆破装置で地雷原通過口を開設、81mm迫撃砲及び120mm迫撃砲、狙撃班の射撃が小銃小隊の前進を支援しました。

さらに、第22即応機動連隊第2機動戦車中隊のMVCVによる射撃支援を受けつつ、小銃小隊は次々と現出する敵を撃破し攻撃目標を奪取、引き続き個人携帯対戦車弾及びO1式軽対戦車誘導弾での逆襲対処まで一連の任務を遂行しました。

連隊は本訓練を通じ、各種火器の射撃練度向上を図るとともに、陣地攻撃における戦闘行動に連携した射撃要領を演練することが出来ました。

また、81mm迫撃砲及び120mm迫撃砲の射撃においては、今年入隊した新隊員が各中隊の先輩隊員に射撃



小銃小隊の射撃



林内における重迫撃砲射撃



新隊員81mm迫撃砲射撃



70式地雷原爆破装置



RANGER FUKUSHIMA



体力調整1-2



体力調整1-1



水路潜入 (檜原湖)



空路潜入 (実機)



令和4年度
師団レンジャー教育訓練開始!
第6師団



第6音楽隊
3等陸曹 田中 瑞希 (音楽陸曹)



第6飛行隊
陸士長 渡邊 夏菜 (航空機整備手)

活躍する 女性隊員の紹介

私は、第6音楽隊で音楽陸曹として勤務しています。第6音楽隊は、山形・宮城・福島県の東北3県を担当し、記念行事や定期演奏会、各種行事における演奏など幅広い演奏活動を行っています。

音楽隊は、地域と自衛隊を繋ぐ架け橋のような存在だと感じています。演奏会に足を運んで下さる方々の笑顔や、時には涙を流して聴いている姿を見た時は大きなやりがいを感じます。

演奏は、同じ駐屯地で働く自衛官に向けた「士気高揚のための演奏」や、「儀式のための演奏」が経験できることは自衛隊の音楽隊の魅力の一つだと感じています。

また現在、経費係として部隊に配分された経費を計画的に執行する重要な業務を担当しており、日々責任感を持って取り組んでいます。他にも車両の操縦手として人員輸送車1号(大型バス)の操縦訓練を積極的に行っています。

マルチに活躍できる自衛官になることが目標です。

私は現在、航空機整備手として、第6飛行隊で勤務しています。

有事の際には全国に展開する機動部隊として、指揮連絡、物資空輸、救助活動、山林火災消火等の訓練を日々行っています。

第6飛行隊は師団で唯一の航空科部隊であり、即応力が求められる部隊です。故に、いち早く活動部隊に対して情報を提供することで、より各種活動が円滑に実施できるよう日々部隊の仲間と共に訓練に励んでいます。

私は今年、出産を予定しています。職場では、家族を含め今の状況を快く理解していただき、勤務等と両立することができ、第6飛行隊の一員として、活躍する母になれるよう、また部隊に貢献できるよう誇りを持ち勤務していきます。